

Wyse Converter for PCs

バージョン 1.0 管理者ガイド



メモ、注意、警告

① | **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

△ | **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

⚠ | **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2017 すべての著作権は Dell Inc. またはその子会社にあります。Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

1 Wyse Converter for PCs の概要	4
対応オペレーティングシステム.....	4
2 インストール方法	5
サイレントインストール用のパラメータ.....	5
Wyse Converter for PCs をインストールする前提条件.....	6
サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール.....	6
ローカルデバイス上にインストーラを使用して Wyse Converter for PCs をインストールする.....	7
3 操作を始める	9
Wyse Software Thin Client にログインする.....	9
Wyse Software Thin Client を設定する前に.....	9
統合書き込みフィルタ.....	10
NetXClean ユーティリティ.....	12
C-A-D ツール.....	13
Wyse Management Suite への Wyse Software Thin Client の登録.....	13
4 Wyse Software Thin Client の設定	16
VMware Horizon クライアントを使用した仮想デスクトップへの接続.....	16
Citrix Receiver セッションサービスの設定.....	17
リモートデスクトップ接続セッションサービスの設定.....	18
Wyse Management Suite を使用した Wyse Software Thin Client の設定.....	19
RAM ディスクのサイズの設定.....	19
5 Wyse Converter for PCs ライセンス	20
Wyse Management Suite ライセンスのインポートとアップグレード.....	20
6 アンインストール方法	22
Wyse Converter for PCs をリモートでアンインストールする.....	22
サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール.....	22
Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール.....	23
Wyse Converter for PCs をローカルでアンインストールする.....	23
7 Wyse Converter for PCs のトラブルシューティング	25

Wyse Converter for PCs の概要

Wyse Converter for PCs は、Windows PC 上に Thin Client のようなエクスペリエンスを提供することが可能なスタンドアロンソフトウェアです。Wyse Converter for PCs は、VDI セッションに接続するために安全でシームレスなインタフェースを提供します。

Wyse Converter for PCs をインストールした後で、デバイスは Wyse Software Thin Client とみなされます。Wyse Management Suite 1.1 以降のバージョンを使用して、デバイスを管理することができます。

Wyse Converter for PCs は、ハードウェア上の既存の Windows オペレーティングシステムを利用し、カスタマイズを追加しますが、オペレーティングシステムを置き換えません。より安全なユーザーエクスペリエンスのために既存の Windows オペレーティングシステムのみをロックダウンします。

① **メモ:** システム上の既存の スタート メニューのショートカットとデスクトップショートカットがインストール中に削除されますが、アンインストール後にショートカットを復元できます。

対応オペレーティングシステム

Wyse Converter for PCs は、次のオペレーティングシステムでサポートされます。

- Microsoft Windows 7、32 ビットおよび 64 ビット、サービスパック 1 のみ (英語のみ)
- Microsoft Windows 10 Enterprise、64 ビット (英語のみ)

インストール方法

次のいずれかの方法を使用して Wyse Converter for PCs をインストールできます。

- Microsoft System Center Configuration Manager などのサードパーティの管理ソフトウェアからのリモートまたはサイレントインストール - 「[サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール](#)」を参照してください。
- お使いの PC 上へのローカルインストール - 「[ローカルデバイス上にインストーラを使用して Wyse Converter for PCs をインストールする](#)」を参照してください。

Wyse Converter for PCs インストーラによって次の修正が行われました。

- WyseAdmin と WyseUser の 2 つの新しいユーザーアカウントが作成され、既存の非管理者アカウントが無効化されました。
- NetXClean ユーティリティがインストールされ、ローカルストレージから不要な情報が取り除かれます。
- コントロール設定機能はユーザーに制限されます。
- Wyse Management Suite を使用して Wyse Software Thin Client を管理するように Wyse デバイスエージェントがインストールされます。
- Wyse デバイスエージェント、Citrix Receiver、Citrix HDX RealTime Media Engine、VMware Horizon クライアント、TightVNC などのアプリケーションを、インストーラを使用してお使いの PC にインストールできます。
- Dell Thin Client アプリケーション、CAD マップツール、および RAMDisk アプリケーションがインストールされます。
- Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムで実行されるシステムにインストールされた Wyse Converter for PCs によって統合書き込みフィルタがインストールされます。
- Dell の壁紙、デスクトップのテーマ、およびユーザーアカウントの Dell のロゴが追加されました。

① メモ:

- 管理者アカウントとローカル管理者グループの一部であるユーザーアカウントは Wyse Converter for PCs によって無効化されません。
- Wyse Converter for PCs によってインストールされたアプリケーションのいずれかをアップデートする場合、Wyse Converter for PCs のアンインストール時にこれらのアプリケーションはアンインストールされません。
- Citrix Receiver、Citrix HDX RealTime Media Engine、VMware Horizon クライアント、TightVNC などのサポートされているアプリケーションは、任意のバージョンのアプリケーションがすでに PC にインストールされている場合はダウンロード、導入、またはアップグレードされません。

トピック :

- [サイレントインストール用のパラメータ](#)
- [Wyse Converter for PCs をインストールする前提条件](#)
- [サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール](#)
- [ローカルデバイス上にインストーラを使用して Wyse Converter for PCs をインストールする](#)

サイレントインストール用のパラメータ

次の表では、サイレントインストールのために使用するパラメータについて説明しています。



表 1. サイレントインストール用のパラメータ

名前	構文	説明
install	/install	ユーザーインターフェースおよびプロンプトを表示せずにインストールを実行します。
adminpassword	/adminpassword:	管理者アカウントのパスワードを設定します。
userpassword	/userpassword:	ユーザーアカウントのパスワードを設定します。
app	/app:	指定したアプリケーションをインストールします。
citrixrcvr	citrixrcvr	お使いのシステムに Citrix Receiver をインストールします。
citrixhdxrtme	citrixhdxrtme	お使いのシステムに Citrix HDX RealTime Media Engine をインストールします。
vmware	vmware	お使いのシステムに VMware Horizon クライアントをインストールします。
tightvnc	tightvnc	お使いのシステムに TightVNC をインストールします。

Wyse Converter for PCs をインストールする前提条件

Wyse Converter for PCs をインストールするための前提条件は次のとおりです。

- Windows QFE およびドライバを最新バージョンにアップデートする必要がある。
- 正規品の Windows オペレーティングシステムがインストールされている。
- 既存のユーザー名は WyseUser または WyseAdmin にしない。
- 少なくとも 2 GB のディスク容量が利用可能である。
- 統合書き込みフィルタが無効になっている - Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムのみ該当する。
- アンチウイルスを無効にする。
- Windows セキュアブートを無効にする - Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムのみ該当する。

① | **メモ:** Wyse Converter for PCs は仮想マシン上にインストールすることはできません。

サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のインストール

Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) などのサードパーティの管理ソフトウェアを使用して同時に複数のデバイスに Wyse Converter for PCs をインストールできます。

SCCM を使用して Wyse Converter for PCs をサイレントインストールする場合は、次の手順を実行します。

- 1 SCCM コンソールを起動します。
- 2 **ソフトウェアライブラリ > 概要 > アプリケーション管理 > アプリケーション** の順に移動します。
- 3 **アプリケーション** を右クリックして、**アプリケーションの作成** をクリックします。
アプリケーションの作成ウィザード ウィンドウが表示されます。

- 4 **全般** ページで、**アプリケーションの情報を手動で指定する** をクリックします。
 - 5 **次へ** をクリックします。
 - 6 **一般情報** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**次へ** をクリックします。
 - 7 **アプリケーションカタログ** ページで、アプリケーションカタログをブラウズするときにアプリケーションを表示する方法についての情報を指定します。
 - 8 **展開の種類** ページで、**追加** をクリックして、展開の種類を作成します。
展開の種類の作成ウィザード ウィンドウが表示されます。
 - 9 **全般** ページで、**展開の種類の情報を手動で指定する** をクリックします。
 - 10 **次へ** をクリックします。
 - 11 **一般情報** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**次へ** をクリックします。
 - 12 **コンテンツ** ページで、Wyse Converter for PCs セットアップファイルの場所を指定します。
 - 13 **インストールプログラム** フィールドにパラメータ `WyseConverterforPCs.exe /install /adminpassword: /userpassword: /app:` を入力し、管理者パスワード、ユーザーパスワード、およびインストールするアプリケーションを指定します。
例 : `WyseConverterforPCs.exe /install /adminpassword:DellCCCvdi /userpassword:DellCCCvdi /app:citrixrivr:citrixhdxrtme:vmware:tightvnc.`
- パラメータの詳細については、「[サイレントインストール用のパラメータ](#)」を参照してください。
- 14 **検出方法** ページで、**設定の種類** を **ファイルシステム** として選択し、**パス** フィールドに `%Windir%\Setup\Logs` を入力します。
 - 15 種類を指定し、ファイルまたはフォルダ名を `InstallWyseConverter.log` と入力し、**OK** をクリックします。
 - 16 **次へ** をクリックします。
 - 17 **ユーザーエクスペリエンス** ページで、**インストールの動作** ドロップダウンリストから **リソースがデバイスの場合はシステム用に、それ以外の場合はユーザー用にインストールする** を選択します。
 - 18 **必要なログオン状態** ドロップダウンリストから、**ユーザーのログオン状態に関係なし** を選択します。
 - 19 **インストールプログラムの表示** ドロップダウンリストから、**非表示** を選択します。
 - 20 アプリケーションの展開プログラムの最大実行時間と推定インストール時間を指定し、**次へ** をクリックします。
 - 21 **要件** ページで、**次へ** をクリックします。
 - 22 **依存関係** ページで、**次へ** をクリックします。
 - 23 **概要** ページには、設定の概要が表示されます。
 - 24 **閉じる** をクリックします。
 - 25 コンテンツを展開に使用可能にするために、配布ポイントにコンテンツを配布します。配布ポイントにコンテンツを配布するには、technet.microsoft.com の「*Operations and Maintenance for Content Management in Configuration Manager*」(Configuration Manager のコンテンツ管理の操作とメンテナンス) を参照してください。
 - 26 ターゲット PC で、**ソフトウェアセンター** を開き、**Wyse Converter for PCs** を選択します。
 - 27 **インストール** をクリックします。

ローカルデバイス上にインストーラを使用して Wyse Converter for PCs をインストールする

- ① **メモ:** ローカルデバイス上でサイレントインストールを実行するには、管理者としてログインし、コマンドプロンプトを実行して、`WyseConverterforPCs.exe /install /adminpassword: /userpassword: /app:` と入力します。

例 : `WyseConverterforPCs.exe /install /adminpassword:DellCCCvdi /userpassword:DellCCCvdi /app:citrixrivr:citrixhdxrtme:vmware:tightvnc.`

サイレントパラメータの詳細については、「[サイレントインストール用のパラメータ](#)」を参照してください。

ローカルデバイス上に Wyse Converter for PCs をインストールするには、次の操作を行います。

- 1 インストーラパッケージをダブルクリックします。
ユーザーアカウント制御 ウィンドウが表示されます。
- 2 **Yes (はい)** をクリックします。
インストーラは、インストールの前提要件を検証します。



3 インストールの前提要件が満たされている場合は、**OK** をクリックします。

ようこそ 画面が表示されます。

4 **Dell エンドユーザーライセンス契約** を読み、**次へ** をクリックします。

① **メモ:** Dell エンドユーザーライセンス契約を表示するには、**Adobe Reader** が必要です。

5 インストールする **セットアップタイプ** を選択し、**次へ** をクリックします。利用できるオプションは次のとおりです。

- **標準** : セットアップタイプを **標準** として選択する場合は、**標準インストール** 画面が表示されます。画面には、Wyse Converter for PCs インストーラによってインストールされるプログラム機能が一覧表示されます。

① **メモ:** 標準インストールでは、**最小限のユーザー操作が必要で、すべての標準的なプログラム機能がインストールされます。**

- **カスタム** : セットアップタイプを **カスタム** として選択する場合は、**カスタムインストール** 画面が表示され、お使いのシステムにインストールする次のアプリケーションのいずれかを選択できます。
 - Wyse デバイスエージェント
 - Citrix Receiver
 - Citrix HDX RealTime Media Engine
 - VMware Horizon Client
 - TightVNC

① **メモ:**

- カスタムインストールでは、**最大限のユーザー操作が必要で、インストールするプログラム機能を選択できます。**このインストールは上級ユーザーにお勧めします。
- Wyse デバイスエージェントはデフォルトでインストールされるため、チェックボックスはグレー表示されています。
- インストール手順を開始する前にすでに PC にアプリケーションがインストールされている場合は、Wyse Converter for PCs によって再インストールされません。

6 **次へ** をクリックします。

ユーザーアカウントの追加 画面が表示されます。

7 管理者のデフォルトパスワードおよびユーザーアカウントを変更する場合は、**デフォルトのパスワードを使用** チェックボックスをクリアします。デフォルトの管理者およびユーザーパスワードは DellCCCVdi です。

① **メモ:**

- デフォルトの管理者ユーザー名と標準のユーザー名を変更することはできません。
- デフォルトのパスワードは、ターゲットデバイスがドメインに属している場合には適用されないため、パスワードの複雑さが有効になります。
- パスワードには、\ / : * ? " < > | などの特殊文字を含めることはできません。

8 **次へ** をクリックして、ソフトウェアをインストールします。

インストールの進行状況とともに**インストール** 画面が表示されます。

9 インストールが完了したら、**今すぐ再起動** をクリックします。

システムが再起動し、WyseAdmin アカウントに自動的にログインします。

インストーラにより、WyseAdmin と WyseUser アカウントのロックダウンのスクリプトが実行され、WyseUser アカウントに自動的にログインします。

インストーラがインストールを完了するには、約 25 分かかります。

① **メモ:**

- Windows 10 Enterprise デバイスにインストールした後で、書き込みフィルタはデフォルトで有効になります。
- インストールを完了するために、システムは 2 回再起動し、WyseUser アカウントに自動的にログインします。

操作を始める

WyseUser または WyseAdmin として Wyse Software Thin Client にログインできます。

Wyse Software Thin Client を使用して操作を始めるには、以下を参照してください。

- Wyse Software Thin Client にログインする - 「[Wyse Software Thin Client にログインする](#)」を参照してください。
- Wyse Software Thin Client を設定する前に - 「[Wyse Software Thin Client を設定する前に](#)」を参照してください。

トピック：

- [Wyse Software Thin Client にログインする](#)
- [Wyse Software Thin Client を設定する前に](#)

Wyse Software Thin Client にログインする

Wyse Software Thin Client がオンになっているか再起動されたときに表示される内容は、管理者の設定により異なります。ユーザーアカウントの作成後、管理者は、自動的にログインできるように、またはユーザー資格情報を使用して手動でログインできるようにアカウントを設定できます。

Wyse Software Thin Client を起動すると、デフォルトで WyseUser デスクトップに自動的にログインします。

Windows 10 デバイスに別のユーザーまたは管理者としてログインするには、次の手順を実行します。

- 1 **スタートメニュー > ユーザー > サインアウト** の順にクリックして、現在のデスクトップからログオフします。
- 2 ロック画面上の任意の場所をクリックすると、**ログオン** ウィンドウが表示されます。
- 3 画面の左下には、ユーザーアカウントのリストを表示できます。希望のユーザーアカウントをクリックして、ログオン資格情報を入力します。
 - **管理者** - デフォルトのユーザー名は **WyseAdmin** であり、デフォルトのパスワード（大文字 / 小文字は区別されます）は **DellCCCvdi** です。
 - **ユーザー** - デフォルトのユーザー名は **WyseUser** であり、デフォルトのパスワード（大文字 / 小文字は区別されます）は **DellCCCvdi** です。

自動ログインが有効になっていない場合は、Wyse Software Thin Client の起動時にログイン ウィンドウが表示されます。手順 2 および手順 3 で述べられているオプションを使用してログインできます。

Windows 7 デバイスに別のユーザーまたは管理者としてログインするには、次の手順を実行します。

- 1 **スタートメニュー > ログオフ** の順にクリックして、ログイン ウィンドウが表示されるまで、Shift キーを押しながら現在のデスクトップからログオフします。
- 2 次のオプションのいずれかを使用してログインします。
 - **管理者** - デフォルトのユーザー名は **WyseAdmin** であり、デフォルトのパスワード（大文字 / 小文字は区別されます）は **DellCCCvdi** です。
 - **ユーザー** - デフォルトのユーザー名は **WyseUser** であり、デフォルトのパスワード（大文字 / 小文字は区別されます）は **DellCCCvdi** です。

自動ログインが有効になっていない場合は、Wyse Software Thin Client の起動時にログイン ウィンドウが表示されます。手順 2 で述べられているオプションを使用してログインできます。

Wyse Software Thin Client を設定する前に

統合書き込みフィルタユーティリティは Wyse Software Thin Client を保護することを意図しています。プリンタ、モニタ、その他の周辺機器などの特定のプロファイル設定を保持する場合は、明示的に宣言したプロファイルを消去しないように NetXClean を設定することができます。また、これらのユーティリティ



いは、フラッシュメモリへの望ましくない書き込みを防止し、不要な情報をクリーンアップしてローカルディスクに格納されないようにします。C-A-D ツールを使用すると、管理者は、VDI アプリケーションの Ctrl+Alt+Del キーの組み合わせを、VDI アプリケーションの Ctrl+Alt+Del 画面を表示するようにマッピングできます。C-A-D ツールが有効になっている場合、すべての VDI アプリケーションに Ctrl+Alt+Del キーの組み合わせを使用できます。

Wyse Management Suite では、Wyse Software Thin Client を集中的に設定、監視、管理、および最適化することができます。Wyse Software Thin Client をリモートで管理するには、デバイスを Wyse Management Suite に登録する必要があります。

ただし、Wyse Software Thin Client をログアウトして再起動した後で、変更した設定を管理者が保持することができるインスタンスがあります。

Wyse Software Thin Client を設定する前に、以下を参照してください。

- [統合書き込みフィルタの使用](#)
- [NetXClean ユーティリティについて](#)
- [C-A-D ツールの理解](#)
- [Wyse Management Suite への Wyse Software Thin Client の登録](#)

統合書き込みフィルタ

統合書き込みフィルタ (UWF) は、Windows 10 デバイス上のストレージメディアを保護するセクタベースの書き込みフィルタです。UWF は、保護対象ボリュームへの書き込み試行をすべて傍受し、それらを仮想オーバーレイにリダイレクトします。UWF は、デバイスの信頼性と安定性を向上させ、ソリッドステートドライブのような書き込みに弱いメディアの摩耗を低減します。UWF では、オーバーレイは、基盤となる保護対象ボリュームに加えた変更を保存する仮想ストレージ領域です。ファイルシステムが保護対象セクタを変更しようと試みる場合は必ず、代わりに UWF が保護対象ボリュームのセクタをオーバーレイにコピーして、セクタの代わりにオーバーレイを変更します。アプリケーションがセクタからの読み取りを試行すると、UWF はセクタの代わりにオーバーレイのデータを返します。そのため、ボリュームは変更されないまま、システムはボリュームに書き込むという動作を見た目上維持できます。

△ 注意: 書き込みフィルタをオンにした状態で保持できない場合 (定期的なメンテナンスやアプリケーション / ドライバのインストールまたはアップグレードを除く)、フラッシュ / SSD ストレージが早期に摩耗し、保証が無効になります。デルでは、Thin Client の使用時に書き込みフィルタを有効にすることをお勧めします。システムに変更を加える場合、管理者は UWF を無効にする必要があります。

詳細については、technet.microsoft.com で統合書き込みフィルタのマニュアルを参照してください。

統合書き込みフィルタの使用

UWF を使用するように Wyse Software Thin Client を設定するには、次の操作を行います。

- 1 WyseAdmin としてログインします。
ユーザーのデスクトップへの自動ログオンが有効になっている場合は、ユーザーのデスクトップからログオフして、管理者としてログインします。
- 2 統合書き込みフィルタを無効にするには、デスクトップの **Dell Wyse WF 無効** アイコンをダブルクリックします。
このアイコンは、フィルタを無効にしてシステムを再起動します。
- 3 Wyse Software Thin Client を要件に応じて設定します。
- 4 Wyse Software Thin Client の設定後、統合書き込みフィルタを有効にするには、デスクトップの **Dell Wyse WF 有効** アイコンをダブルクリックします。
このアイコンは、フィルタを有効にしてシステムを再起動します。これで、Wyse Software Thin Client 上の設定が保存され、Thin Client の再起動後も維持されるようになります。

システムが起動した後、統合書き込みフィルタ (UWF) が自動的に起動します。

保護されているボリューム上の特定のファイルまたはフォルダをファイル除外リストに追加して、これらのファイルおよびフォルダが Dell Wyse 統合書き込みコントロールツールを使用して UWF によってフィルタされないようにすることができます。このツールにアクセスするには、システムトレイの統合書き込みフィルタアイコンをクリックします。ファイルまたはフォルダがボリュームの除外リストにある場合、そのファイルやフォルダへのすべての書き込みが UWF フィルタリングをバイパスし、保護されたボリュームに直接書き込まれ、デバイスの再起動後も維持されます。

実行時にファイルまたはフォルダの除外を追加または削除するには、管理者としてログインする必要があります。また、新しい除外が有効になるようにデバイスを再起動する必要があります。

書き込みフィルタコントロールの設定

UWF コントロールの設定を表示および管理するには、**統合書き込みフィルタコントロール** ダイアログボックスを使用します。ダイアログボックスを開くには、管理者タスクバーのタスクトレイにある UWF アイコンをダブルクリックします。

UWF コントロール設定時には、一部のフィールドが使用不可になっています。設定中に使用可能なフィールドのリストから選択することができます。

Dell Wyse 統合書き込みフィルタコントロール ダイアログボックスには以下が含まれます。

• UWF ステータス

- **現在のステータス** - 統合書き込みフィルタのステータスを示します。ステータスは、有効または無効のいずれかです。
- **起動コマンド** - 起動コマンドのステータスを示します。UWF_ENABLE は UWF が次のセッションでは有効になっていることを意味し、UWF_DISABLE は次のセッションでは UWF が無効になっていることを意味します。
- **UWF によって使用される RAM** - メガバイト (MB) と割合で、統合書き込みフィルタに割り当てられている RAM の量を示します。**現在のステータス** が無効になっている場合、UWF に割り当てられる RAM は常にゼロ (0) です。
- **UWF キャッシュに使用される RAM の量** - 現在のセッションで統合書き込みフィルタキャッシュに割り当てられている RAM の量をメガバイト (MB) で示します。
- **警告 #1 (%)** - 現在のセッションでメモリ不足警告メッセージがユーザーに表示される UWF キャッシュの割合値を示しています。
- **警告 #2 (%)** - 重要なメモリの警告メッセージがユーザーに表示される UWF キャッシュの割合値を示しています。

• UWF キャッシュ設定

- **UWF キャッシュに使用される RAM の量** - 次のセッションで統合書き込みフィルタキャッシュとして使用される RAM の量を MB で示します。この値は 256 MB ~ 2048 MB の範囲内である必要があります。この値が使用可能な RAM の 50 % を超えていないことを、必要以上に確認されます。

• UWF 警告設定

- **警告 #1 (%)** - メモリ不足警告メッセージがユーザーに表示される UWF キャッシュの割合値を示しています (デフォルト値 = 80、最小値 = 50、最大値 = 80)。
- **警告 #2 (%)** - 重要なメモリの警告メッセージがユーザーに表示される UWF キャッシュの割合値を示しています。メモリのレベルが警告レベル 2 を超えると、システムが自動的に再起動します (デフォルト値 = 90、最小値 = 55、最大値 = 90)。
- **UWF を有効にする** - 統合書き込みフィルタを有効にできます。Wyse Software Thin Client デバイスを再起動するように要求されます。変更を保存するには、Wyse Software Thin Client を再起動します。統合書き込みフィルタを有効にするためにシステムが再起動した後、デスクトップの統合書き込みフィルタのステータスアイコンが緑色に変わります。
- **UWF を無効にする** - 統合書き込みフィルタを無効にできます。Wyse Software Thin Client デバイスを再起動するように要求されます。変更を保存するには、Wyse Software Thin Client を再起動します。統合書き込みフィルタを無効にした後は、デスクトップのタスクトレイの統合書き込みフィルタのステータスアイコンが赤色に変わり、統合書き込みフィルタはシステムの再起動後も無効のままとなります。
- **デフォルト** - UWF キャッシュ設定領域、および UWF 警告設定領域をリセットしてデフォルト値に設定します。

• ファイルコミット領域

- **ファイルパス** - 基盤となるメディアに対してファイルの追加、削除およびコミットを行えます。システムは Wyse Software Thin Client デバイスを再起動しません。変更はただちにコミットされます。

 **メモ:** ファイルがコミットされていない場合は、リストからファイルパスを削除します。

• 現在のセッションの除外リスト

- **ファイル / ディレクトリパス** -

次のセッションの除外リストに対して、ファイルまたはディレクトリの追加と削除を行えます。これにより、現在のセッションを経由して書き込まれるファイルまたはディレクトリのリストが取得され、ペインのタイトルは現在のセッションの除外リストとして表示されます。次のセッションでは、次のセッション



ンを経由して書き込まれるファイルまたはディレクトリのリストが取得され、ペインのタイトルは次のセッションの除外リストとして表示されます。システムは Wyse Software Thin Client を再起動せず、管理者が Wyse Software Thin Client デバイスを手動で再起動するまで変更はコミットされません。

NetXClean ユーティリティ

NetXClean ユーティリティ：NetXClean は、不要な情報をローカルディスクに格納しないようにするクリーンアップユーティリティです。複数ユーザーにシステムへのログオン権限がある場合、ディスクスペースはローカルに格納されたプロファイルによって使用されます。NetXClean は、最新のプロファイルからディスクスペースを再利用するのに役立ち、また一時的な情報のキャッシュに使用されるディレクトリを自動的にクリーンアップするために使用できます。クリーンアップはサービスの起動またはユーザーのログオフのいずれかでトリガされます。クリーンアップはユーザーの目に見えず、完全に設定可能です。

NetXClean にはサービスとして実行するように Windows ユーティリティが組み込まれています。また、設定ファイルを使用して、消去するディレクトリとファイルと消去しないプロファイルを判断するスタンドアロンユーティリティです。このユーティリティは以下を実行するように設定できます。

- 任意の数のディレクトリとその内容を削除
- 任意の数のディレクトリの内容だけを削除
- 明示的に宣言した任意の数のファイルを削除
- ワイルド文字ファイル名に一致する、任意の数のファイルを削除
- いずれかのプロファイルを消去しないようにする
- 任意の数の明示的に宣言したプロファイルを消去しないようにする
- 任意の数の最近使用したプロファイルを消去しないようにする
- サービス開始イベント、ユーザーログオフイベント、または両方のイベントに関するディレクトリのクリーンアップを実行する
- サービス開始イベント、ユーザーログオフイベント、または両方のイベントに関するファイルクリーンアップを実行する
- サービス開始イベント、ユーザーログオフイベント、または両方のイベントに関するプロファイルクリーンアップを実行する

NetXClean では、次のディレクトリ、またはこれらのディレクトリへの親はクリーンアップしません。

- Windows ディレクトリ
- Windows システムのディレクトリ
- サービスがインストールされている現在のディレクトリ

NetXClean は以下のプロファイルを消去しません。

- 管理者
- skinnynt
- totalcontrol
- Default_User
- Default_user
- 前回ログオンしたユーザーのプロファイル

① メモ:

- NetXClean の消去する項目は、メーカーによって選択されているため、無断で変更しないでください。
- NetXClean ユーティリティには、統合書き込みフィルタ (UWF) との依存関係はありません。

複数のユーザープロファイルを対象とする NetXClean ユーティリティのワークフロー

NetXClean ユーティリティは、システムで複数のユーザープロファイルを設定した場合にユーザープロファイルをクリーンアップするのに役立ちます。これは、ユーザープロファイルへのログオンまたはログオフを行う場合に適用されます。標準的なユーザーシナリオは次のとおりです。

- 1 管理者としてログインします。
- 2 netxclean.ini に、NetXClean ユーティリティで実行させるプロファイル固有の値を指定します。

これらの値は、ログオフし、ユーザープロファイルにログインした後に NetXClean ユーティリティによって認識されます。

システムの再起動またはハード再起動を実行する場合、ユーザープロファイルに対する NetXClean ユーティリティ機能は再起動後は適用されないため、プロファイル固有の値は認識されません。

詳細については、「[Dell Knowledge Base](#)」(Dell ナレッジベース) を参照してください。

C-A-D ツール

C-A-D ツールを使用すると、管理者は、VDI アプリケーションの Ctrl+Alt+Del キーの組み合わせを、VDI アプリケーションの Ctrl+Alt+Del 画面を表示するようにマッピングできます。C-A-D ツールが有効になっている場合、すべての VDI アプリケーションに Ctrl+Alt+Del キーの組み合わせを使用できます。

以下に、C-A-D ツールでサポートされる各種の VDI アプリケーション用にマップされているキーを示します。

- Citrix - Ctrl+F1
- Dell vWorkspace - Ctrl+Alt+End
- RDP - Ctrl+Alt+End

① | メモ: C-A-D ツールは、Citrix セッション内の Xen デスクトップでは機能せず、Citrix Xen アプリケーションでのみ動作します。

C-A-D ツールは、デフォルトで無効に設定されています。C-A-D ツールを有効にするには、次の操作を行います。

- 1 WyseAdmin としてログインします。
- 2 書き込みフィルタを無効にします。
- 3 昇格システム管理者モードでコマンドプロンプトを開きます。
- 4 `cd c:\windows\system32` を入力します。
- 5 `DWKBFilterMon.exe` ファイルを実行して、Wyse Software Thin Client を再起動します。
- 6 書き込みフィルタを有効にします。

Wyse Management Suite への Wyse Software Thin Client の登録

次のいずれかの方法を使用して、Wyse Software Thin Client を Wyse Management Suite に登録します。

- デバイスで Wyse デバイスエージェント (WDA) によって提供されるユーザーインターフェースを介して手動で登録します。
- DHCP サーバで適切なオプションタグを設定して、自動的に登録します。
- DNS サーバで適切な DNS SRV レコードを設定して、自動的に登録します。

Wyse デバイスエージェントのユーザーインターフェースを介した Wyse Software Thin Client の登録

Wyse Software Thin Client を Wyse Management Suite に登録するためにグループを作成します。Wyse デバイスエージェントのユーザーインターフェースを介して Wyse Software Thin Client を登録するには、次の操作を行います。

- 1 Wyse Software Thin Client で、**Wyse デバイスエージェント (WDA)** アプリケーションを開きます。
Wyse デバイスエージェント ウィンドウが表示されます。
- 2 **管理サーバ** ドロップダウンリストから、**Wyse Management Suite** を選択します。



- サーバアドレスとポート番号をそれぞれのフィールドに入力します。
- グループトークンを入力します。シングルテナントについては、グループトークンはオプションの手順です。
- 登録** をクリックします。

登録が完了した後、**Wyse Management Suite** に登録されました メッセージが表示されます。

DNS SRV レコードを使用した Wyse Software Thin Client の登録

DNS ベースのデバイスの登録は、Wyse デバイスエージェント 13.0 以降のバージョンでサポートされます。DNS SRV レコードのフィールドに有効な値が設定されている場合は、Wyse Management Suite サーバにデバイスを登録することができます。次の表に、DNS SRV レコードの有効な値を示します。

表 2. DNS SRV レコードの使用によるデバイスの設定

URL/ タグ	説明
<p>レコード名 - <code>_WMS_MGMT</code></p> <p>レコード FQDN - <code>_WMS_MGMT._tcp.<ドメイン名></code></p> <p>レコードタイプ - SRV</p>	<p>このレコードは、Wyse Management Suite サーバ URL をポイントします。たとえば、<code>wmsserver.acme.com:443</code> であれば、<code>wmsserver.acme.com</code> は、Wyse Management Suite がインストールされているサーバの完全修飾ドメイン名です。</p> <p>① メモ: サーバの URL で <code>https://</code> を使用しないでください。使用すると、Thin Client が Wyse Management Suite の下に登録されません。</p>
<p>レコード名 - <code>_WMS_MQTT</code></p> <p>レコード FQDN - <code>_WMS_MQTT._tcp.<ドメイン名></code></p> <p>レコードタイプ - SRV</p>	<p>このレコードは、デバイスを Wyse Management Suite のプッシュ通知サーバ (PNS) に向けます。プライベートクラウドのインストールについては、デバイスは Wyse Management Suite サーバ上の MQTT サービスに向けられます。例 : <code>wmsservername.domain.com:1883</code>。</p> <p>① メモ: MQTT は、最新バージョンの Wyse Management Suite では任意です。</p> <p>デバイスを Wyse Management Suite のパブリッククラウドで登録するには、デバイスがパブリッククラウドで PNS (MQTT) サーバをポイントする必要があります。たとえば、次のとおりです。</p> <p>US1 - us1-pns.wysemanagementsuite.com</p> <p>EU1 - eu1-pns.wysemanagementsuite.com</p>
<p>レコード名 - <code>_WMS_CAVVALIDATION</code></p> <p>レコード FQDN - <code>_WMS_CAVVALIDATION._tcp.<ドメイン名></code></p> <p>レコードタイプ - テキスト</p>	<p>プライベートクラウドでシステムに Wyse Management Suite がインストールされている場合、このレコードは必須です。パブリッククラウドでデバイスを Wyse Management Suite に登録する場合は、このオプションレコードを追加しないでください。</p> <p>クライアントと Wyse Management Suite サーバ間の https 通信のために既知の認証局から SSL 証明書をインポートしている場合は、True を入力します。</p> <p>クライアントと Wyse Management Suite サーバ間の https 通信のために既知の認証局から SSL 証明書をインポートしていない場合は、False を入力します。</p> <p>① メモ: CA 検証は、最新バージョンの Wyse Management Suite では任意です。</p>

DHCP オプションタグの使用によるデバイスの登録

以下の DHCP オプションタグを使用して、デバイスを登録できます。

表 3. DHCP オプションタグの使用によるデバイスの登録

オプションタグ	説明
<p>名前 - WMS</p> <p>データタイプ - 文字列</p> <p>コード - 165</p> <p>説明 - WMS サーバ FQDN</p>	<p>このタグは、Wyse Management Suite サーバ URL をポイントします。たとえば、wmserver.acme.com:443 であれば、wmserver.acme.com は、Wyse Management Suite がインストールされているサーバの完全修飾ドメイン名です。</p> <p>① メモ: サーバの URL で https:// を使用しないでください。使用すると、Thin Client が Wyse Management Suite の下に登録されません。</p>
<p>名前 - MQTT</p> <p>データタイプ - 文字列</p> <p>コード - 166</p> <p>説明 - MQTT サーバ</p>	<p>このタグは、デバイスを Wyse Management Suite のプッシュ通知サーバ (PNS) に向けます。プライベートクラウドのインストールについては、デバイスは Wyse Management Suite サーバ上の MQTT サービスに向けられます。例 : wmservername.domain.com:1883。</p> <p>デバイスを Wyse Management Suite のパブリッククラウドで登録するには、デバイスがパブリッククラウドで PNS (MQTT) サーバをポイントする必要があります。たとえば、次のとおりです。</p> <p>US1 - us1-pns.wysemanagementsuite.com</p> <p>EU1 - eu1-pns.wysemanagementsuite.com</p>
<p>名前 - CA 検証</p> <p>データタイプ - 文字列</p> <p>コード - 167</p> <p>説明 - 認証局の検証</p>	<p>プライベートクラウドでシステムに Wyse Management Suite がインストールされている場合、このタグは必須です。パブリッククラウドでデバイスを Wyse Management Suite に登録する場合は、このオプションタグを追加しないでください。</p> <p>クライアントと Wyse Management Suite サーバ間の https 通信のために既知の認証局から SSL 証明書をインポートしている場合は、True を入力します。</p> <p>クライアントと Wyse Management Suite サーバ間の https 通信のために既知の認証局から SSL 証明書をインポートしていない場合は、False を入力します。</p>

Wyse Software Thin Client の設定

次の設定については、以下のセクションで説明されています。

- VMware Horizon クライアントの設定。「[VMware Horizon クライアントを使用した仮想デスクトップへの接続](#)」を参照してください。
- Citrix Receiver の設定。「[Citrix Receiver セッションサービスの設定](#)」を参照してください。
- リモートデスクトップ接続の設定。「[リモートデスクトップ接続セッションサービスの設定](#)」を参照してください。
- Wyse Management Suite を使用した設定。「[Wyse Management Suite を使用した Wyse Software Thin Client の設定](#)」を参照してください。
- RAM ディスクのサイズの設定。「[RAM ディスクのサイズの設定](#)」を参照してください。

その他の機能の詳細については、dell.com/support/manuals にある、Windows Embedded Standard 7 Professional、Windows 10 IoT Enterprise、および Wyse Management Suite バージョン 1.1 以降の管理者ガイドを参照してください。

トピック：

- [VMware Horizon クライアントを使用した仮想デスクトップへの接続](#)
- [Citrix Receiver セッションサービスの設定](#)
- [リモートデスクトップ接続セッションサービスの設定](#)
- [Wyse Management Suite を使用した Wyse Software Thin Client の設定](#)
- [RAM ディスクのサイズの設定](#)

VMware Horizon クライアントを使用した仮想デスクトップへの接続

VMware Horizon クライアントはローカルにインストールされるソフトウェアアプリケーションであり、View Connection Server と Thin Client オペレーティングシステム間の通信を実行します。Thin Client から一元的にホストされる仮想デスクトップへのアクセスを提供します。

VMware セッションサービスは、VMware Horizon 6 をインストールした後に、ネットワーク上で使用可能な状態にできます。このサービスは、エンドユーザーに対して単一のプラットフォームを介して、仮想化 / ホストされたデスクトップおよびアプリケーションを提供します。

仮想デスクトップに接続するには、**VMware Horizon クライアント** ウィンドウを使用します。

VMware Horizon クライアント ウィンドウを開いて使用するには、次の手順を実行します。

- 1 ユーザーまたは管理者としてログインします。
- 2 次のいずれかのオプションを使用して、**VMware Horizon クライアント** ウィンドウにアクセスします。
 - スタートメニューで、**VMware > VMware Horizon クライアント** の順にクリックします。
 - デスクトップで **VMware Horizon クライアント** アイコンをダブルクリックします。

VMware Horizon クライアント ウィンドウが表示されます。

- 3 **VMware Horizon クライアント** ウィンドウでは、次のガイドラインを使用します。
 - a 新しいサーバ接続を追加するには、**VMware Horizon クライアント** ウィンドウで **新規サーバ** オプションをクリックするか、**サーバの追加** アイコンをダブルクリックします。
VMware Horizon クライアント ダイアログボックスが表示されます。
 - b **VMware Horizon クライアント** ダイアログボックスで、接続サーバのボックスに VMware Horizon Connection Server のホスト名または IP アドレスを入力します。
 - c **接続** をクリックします。

- d **ログイン** ダイアログボックスで、ユーザー名とログインパスワードをそれぞれのボックスに入力します。
- e **ドメイン** ドロップダウンリストから、サーバが所属するドメインを選択します。
- f **ログイン** をクリックします。

VMware Horizon クライアントが、選択したデスクトップに接続します。接続の確立後、公開されているデスクトップのリストが表示されます。

- g 特定のアプリケーションまたはデスクトップのアイコンを右クリックしてから、**起動** をクリックして選択したアプリケーションまたはデスクトップに接続します。

VMware Horizon クライアントの詳細については、www.vmware.com を参照してください。

① メモ:

証明書チェックモード - 証明書チェックモードでは、サーバへの接続が安全であることをクライアントが確認できない場合に、クライアントがどのような処理を行うべきかが決定されます。システム管理者の指示がない限り、この設定は変更しないことをお勧めします。

証明書チェックモードにアクセスするには、ウィンドウの右上隅にあるアイコンをクリックし、ドロップダウンリストから **SSL の設定** をクリックします。

VMware Horizon クライアントの SSL 設定 ダイアログボックスで、必要に応じて次のいずれかのオプションを選択します。

- 信頼できないサーバに接続しません
- 信頼できないサーバに接続する前に、警告を表示します
- サーバ ID 証明を確認しません

Citrix Receiver セッションサービスの設定

Citrix Receiver は、ユーザーインタフェースからアプリケーションロジックを分離する、サーバベースのコンピューティングテクノロジーです。Thin Client デバイスにインストールされた Citrix Receiver クライアントソフトウェアを使用すると、すべてのアプリケーションプロセスがサーバ上で実行されている間にアプリケーション GUI と対話できます。

Citrix Receiver セッションサービスは、ターミナルサービスを含む Windows Server 2008 または Windows Server 2012 を使用してネットワーク上で使用可能にすることができます。次のいずれかがインストールされます。

- XenDesktop 7.5
- XenDesktop 7.6
- XenDesktop 7.8
- XenDesktop 7.9
- XenDesktop 7.11

① メモ:

Windows Server 2003、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 を含む Citrix XenApp 5.0 を使用している場合、ターミナルサービスのクライアントアクセスライセンス (TSCAL) サーバにもネットワークでアクセスできる必要があります。サーバにより一時ライセンスが付与され、120 日後に失効します。一時ライセンスの失効後、TSCAL を購入してサーバにインストールします。接続を確立するには一時的または永続的ライセンスが必要です。

Citrix Receiver セッションを設定するには、次の操作を行います。

- 1 管理者としてログインします。
- 2 次のいずれかのオプションを使用して Citrix サーバにアクセスします。
 - **スタート** メニューで、**Citrix Receiver** をクリックします。
 - デスクトップで **Citrix Receiver** アイコンをダブルクリックします。

Citrix サーバへのログイン後、**アカウントの追加** ウィンドウが表示されます。

- 3 **アカウントの追加** ウィンドウで、サーバ IP アドレスを入力します。
- 4 **次へ** をクリックします。
 - セキュアな接続には、完全修飾ドメイン名 (FQDN) を入力します。



- 非セキュアな接続には、IP アドレスを入力します。
- 5 ユーザーの資格情報を入力し、**ログオン** をクリックします。
IP アドレスを入力することでアカウントの追加が可能になり、Citrix Receiver の詳細を表示することができます。
 - 6 **はい** をクリックしてから **次へ** をクリックします。
Citrix Receiver の仮想デスクトップが表示されます。
 - 7 仮想デスクトップウィンドウで、**アプリケーションの追加 (+) > すべてのアプリケーション** の順に移動します。
アプリケーションのチェックボックスをオンまたはオフにすることができます。選択したアプリケーションが仮想デスクトップに表示されます。
 - 8 仮想デスクトップで、**設定** をクリックして、サーバのアカウントを更新、追加または削除して、ログオフします。

リモートデスクトップ接続セッションサービスの設定

リモートデスクトップ接続は、グラフィカルインターフェースを提供するネットワークプロトコルであり、ネットワーク接続を経由して別のコンピュータへの接続を確立します。

① **メモ:** Windows Server 2003、Windows Server 2008、または Windows Server 2008 を含む Citrix XenApp 5.0 を使用している場合、ターミナルサービスのクライアントアクセスライセンス (TSCAL) サーバにもネットワークでアクセスできる必要があります。サーバにより一時ライセンスが付与され、120 日後に失効します。一時ライセンスの失効後、TSCAL を購入してサーバにインストールします。接続を確立するには一時的または永続的ライセンスが必要です。

リモートデスクトップ接続を設定するには、次の手順を実行します。

- 1 ユーザーまたは管理者としてログインします。
- 2 **スタート** メニューで、**リモートデスクトップ接続** をクリックするか、またはデスクトップの **リモートデスクトップ接続** アイコンをダブルクリックします。
リモートデスクトップ接続 ウィンドウが表示されます。
- 3 **コンピュータ** ボックスに、コンピュータ名またはドメイン名を入力します。
- 4 詳細設定オプションについては、**オプションを表示** をクリックします。
 - a **全般** タブでは、ログイン資格情報の入力、既存の RDP 接続の編集または開始、新規の RDP 接続ファイルの保存などを行えます。
 - b **ディスプレイ** タブでは、リモートデスクトップのディスプレイと画面の色を管理します。
 - スライダーを動かして、リモートデスクトップのサイズを拡大または縮小します。全画面表示するには、スライダーを右方向いっぱいにかきまします。
 - ドロップダウンリストから、リモートデスクトップの画面の色を希望に応じて選択します。
 - **全画面表示時に接続バーを表示する** チェックボックスをオンまたはオフにして、全画面モードで接続バーを表示または非表示にします。
 - c **ローカルリソース** タブで、リモートデスクトップのオーディオ、キーボード、またはローカルデバイス / リソースの設定を行います。
 - リモートオーディオ セクションで、**設定** をクリックして詳細なオーディオ設定オプションを選択します。
 - **キーボード** セクションで、キーボードの組み合わせを適用する場合と場所を選択します。
 - **ローカルデバイスとリソース** セクションでは、リモートセッションで使用するデバイスとリソースを選択します。その他のオプションについては、**詳細** をクリックします。
 - d **エクスペリエンス** タブで、接続品質に基づいてリモートセッションのパフォーマンスを最適化します。

① **メモ:**

統合書き込みフィルタのキャッシュがいっぱいである場合、ウィンドウの **オプションの表示** をクリックしてから **エクスペリエンス** タブのビットマップキャッシングを無効にできます。

- e **詳細設定** タブで、サーバが認証に失敗した場合に実行するアクションを選択し、リモートゲートウェイを経由する接続の設定を行います。
- 5 **接続** をクリックします。
 - 6 リモートセッションに接続するには、**セキュリティ** ダイアログボックスにログイン資格情報を入力します。
リモートデスクトップが表示され、**接続バーを表示する** を選択した場合は上部に接続バーが表示されます。

Wyse Management Suite を使用した Wyse Software Thin Client の設定

Wyse Converter for PCs を使用してデバイスが Wyse Software Thin Client に変換される場合は、Wyse Management Suite 1.1 以降のバージョンを使用して Thin Client を設定できます。Wyse Software Thin Client を設定するには、デバイスを Wyse Management Suite に登録する必要があります。

- 1 Wyse Management Suite コンソールにログインします。
- 2 ダッシュボードの **グループ & 設定** をクリックします。
- 3 グループを選択し、**ポリシーの編集** をクリックします。
- 4 **Wyse Software Thin Client** をクリックします。

Wyse Software Thin Client ページが表示されます。

- 5 オプションの設定後、**保存して公開** をクリックします。

Wyse Software Thin Client の登録と Wyse Management Suite を使用したポリシーの設定の詳細については、dell.com/support/manuals にある『Wyse Management Suite 1.1 Administrator's Guide』(Wyse Management Suite 1.1 管理者ガイド) を参照してください。

RAM ディスクのサイズの設定

RAM ディスクは、一時的なデータの保存場所として使用される揮発性メモリです。

RAM ディスクには通常、次の項目が保存されます。

- ブラウザの Web ページのキャッシュ
- ブラウザ履歴
- ブラウザの Cookie
- ブラウザのキャッシュ
- インターネット一時ファイル
- 印刷スプール
- ユーザーおよびシステムの一時的ファイル

RAM ディスクのサイズを設定するには、次の操作を行います。

- 1 管理者としてログインします。
- 2 **開始 > Dell Thin Client アプリケーション** の順に移動します。
Dell Thin Client アプリケーション ウィンドウが表示されます。
- 3 左のナビゲーションバーで、**RAM ディスク** をクリックします。
- 4 **RAM ディスクのサイズ** フィールドで、設定する RAM ディスクのサイズを入力または選択し、**適用** をクリックします。

RAM ディスクのサイズを変更した場合、変更を有効にするにはシステムを再起動するよう求められます。

① メモ:

情報を永久的に保存するには、統合書き込みフィルタ (UWF) を無効にしてください。詳細については、「[Wyse Software Thin Client を設定する前に](#)」を参照してください。



Wyse Converter for PCs ライセンス

Wyse Converter for PCs には、45 日間の試用版ライセンスが付属しています。試用版を使用して、PC を Thin Client のようなエクスペリエンスに変換して、ロックダウン機能をテストし、Wyse Management Suite を使用して Wyse Software Thin Client を設定できます。45 日の試用期間は、Wyse Converter for PCs をご使用の PC にインストールした日から開始されます。Wyse Converter for PCs に登録したときに電子メールを介して、Wyse Converter for PCs および Wyse Management Suite をダウンロードする手順を受信します。また、ライセンスキーを取得する方法の詳細についても受信します。

① **メモ:** 試用期間中は、常時 25 デバイスを登録および管理することができます。

試用期間の終了後：

- Wyse Management Suite サーバを介したアップグレードはできません。
- 管理者は、Wyse Management Suite オンプレミス サーバを使用して、既存のデバイスを引き続き管理できます。
- 新しい Wyse Software Thin Client を Wyse Management Suite に追加することはできません。

Wyse デバイスエージェントコミュニティが Wyse Management Suite サーバと通信した後で、アップデートされたライセンス情報がインポートされ、ローカルストアがアップデートされます。

45 日後、Wyse Management Suite ライセンスをインポートまたはアップデートすることにより、Wyse Converter for PCs を使用し続けることができます。「[Wyse Management Suite ライセンスのインポートとアップグレード](#)」を参照してください。

Wyse Management Suite ライセンスのインポートとアップグレード

Wyse Management Suite ライセンスをプライベートクラウドにインポートするには、次のいずれかの操作を行います。

• 方法 1

- Wyse Management Suite のプライベートクラウドサーバにログインします。
- ポータル管理 > アカウント > サブスクリプション > ライセンスのインポート** の順に移動します。
- ユーザー名とパスワードを入力します。
- データセンター** ドロップダウンリストから、データセンターを選択します。
- 追加する Wyse Software Thin Client シートまたはデバイス数を入力し、**インポート** をクリックします。

① **メモ:** ライセンスをインポートするには、Wyse Management Suite のプライベートクラウドサーバをパブリッククラウドに接続する必要があります。

• 方法 2

- Wyse Management Suite パブリッククラウドサーバにログインします。
- ポータル管理 > アカウント > サブスクリプション > プライベートクラウドのライセンスのエクスポート** の順に移動します。
- エクスポートする Wyse Software Thin Client シートの数を入力します。
- エクスポート** をクリックします。
- 生成されたライセンスをコピーします。
- Wyse Management Suite のプライベートクラウドサーバにログインします。
- ポータル管理 > アカウント > サブスクリプション > ライセンスのインポート** の順に移動します。

- h 生成されたライセンスを入力します。
- i **インポート** をクリックします。

① **メモ:** www.wysemanagementsuite.com で Wyse Management Suite の試用版に登録するか、サブスクリプションを購入すると、ログイン資格情報を受け取ります。Wyse Management Suite サブスクリプションは、デルの営業チームまたはローカルのデルパートナーから購入できます。詳細については、www.wysemanagementsuite.com を参照してください。

有効なライセンスを割り当てるには、デバイスを Wyse Management Suite に追加して登録する必要があります。「[Wyse Management Suite への Wyse Software Thin Client の登録](#)」を参照してください。

パブリッククラウドから Wyse Management Suite のライセンスを評価版から実稼働版にアップグレードするには、デルの営業チームまたはローカルのデルパートナーに連絡してください。Wyse Management Suite ライセンスがアップグレードされた後は、デバイスを管理するために、以前と同様の資格情報で管理者として Wyse Management Suite ポータルにログインすることができます。

パブリッククラウドアカウントからプライベートクラウドにライセンスをエクスポートして、プライベートクラウド上のライセンスをアップグレードすることができます。プライベートクラウド上にライセンスをインポートするには、次のいずれかの操作を行います。

- **ポータル管理 > サブスクリプション** の順に移動し、**ライセンスのインポート** セクションに詳細を入力して、**インポート** をクリックします。
- **ポータル管理 > サブスクリプション** の順に移動し、**ライセンスのインポート** セクションにライセンスキーを入力して、**インポート** をクリックします。

詳細については、dell.com/support/manuals で『Wyse Management Suite 1.1 Administrator's Guide』（Wyse Management Suite 1.1 管理者ガイド）を参照してください。



アンインストール方法

次のいずれかの方法を使用して Wyse Converter for PCs をアンインストールできます。

- リモートアンインストール - 「[Wyse Converter for PCs をリモートでアンインストールする](#)」を参照してください。
- ローカルアンインストール - 「[Wyse Converter for PCs をローカルでインストールする](#)」を参照してください。

① **メモ:** Wyse Converter for PCs インストール中にインストールされる .NET Framework、Microsoft Visual C++ Redistributable、Windows Management Framework、Citrix Receiver、および VMware Horizon クライアントは Wyse Converter for PCs のアンインストール時には削除されません。

トピック：

- [Wyse Converter for PCs をリモートでアンインストールする](#)
- [Wyse Converter for PCs をローカルでアンインストールする](#)

Wyse Converter for PCs をリモートでアンインストールする

次のいずれかの方法を使用してリモートで Wyse Converter for PCs をアンインストールできます。

- サードパーティの管理ソフトウェアの使用 - 「[サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール](#)」を参照してください。
- Wyse Management Suite の使用 - 「[Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール](#)」を参照してください。

サードパーティの管理ソフトウェアを使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール

Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM) などのサードパーティの管理ソフトウェアを使用して Wyse Converter for PCs をアンインストールすることができます。

- 1 SCCM コンソールを起動します。
- 2 **ソフトウェアライブラリ > 概要 > アプリケーション管理 > アプリケーション** の順に移動します。
- 3 **アプリケーション** を右クリックして、**アプリケーションの作成** をクリックします。
アプリケーションの作成ウィザード ウィンドウが表示されます。
- 4 **全般** ページで、**アプリケーションの情報を手動で指定する** をクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。
- 6 **一般情報** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**次へ** をクリックします。
- 7 **アプリケーションカタログ** ページで、アプリケーションカタログをブラウズするときにアプリケーションを表示する方法についての情報を指定します。
- 8 **展開の種類** ページで、**追加** をクリックして、展開の種類を作成します。
展開の種類の作成ウィザード ウィンドウが表示されます。
- 9 **全般** ページで、**展開の種類の情報を手動で指定する** をクリックします。
- 10 **次へ** をクリックします。

- 11 **一般情報** ページでは、アプリケーションに関する情報を指定し、**次へ** をクリックします。
- 12 **コンテンツ** ページで、Wyse Converter for PCs **セットアップファイル**の場所を指定します。
- 13 **インストールプログラム** フィールドに、uninstaller_WyseConverterForPCs.exe と入力します。
- 14 **検出方法** ページで、**設定の種類** を **ファイルシステム** として選択し、**パス** フィールドに drive C:\Windows\Setup\Logs \UninstallWyseConvertor.log と入力します。
- 15 **種類** および **ファイル** または **フォルダ名** を指定し、**OK** をクリックします。
- 16 **次へ** をクリックします。
- 17 **ユーザーエクスペリエンス** ページで、**インストールの動作** ドロップダウンリストから **リソースがデバイスの場合はシステム用に、それ以外の場合はユーザー用にインストールする** を選択します。
- 18 **必要なログオン状態** ドロップダウンリストから、**ユーザーのログオン状態に関係なし** を選択します。
- 19 **インストールプログラムの表示** ドロップダウンリストから、**非表示** を選択します。
- 20 アプリケーションの展開プログラムの最大実行時間と推定インストール時間を指定し、**次へ** をクリックします。
- 21 **要件** ページで、**次へ** をクリックします。
- 22 **依存関係** ページで、**次へ** をクリックします。
- 23 **概要** ページには、設定の概要が表示されます。
- 24 **閉じる** をクリックします。
- 25 コンテンツを展開に使用可能にするために、配布ポイントにコンテンツを配布します。配布ポイントにコンテンツを配布するには、technet.microsoft.com の「*Operations and Maintenance for Content Management in Configuration Manager*」(Configuration Manager のコンテンツ管理の操作とメンテナンス) を参照してください。

Wyse Management Suite を使用した Wyse Converter for PCs のアンインストール

- 1 Wyse Management Suite コンソールにログインします。
- 2 **アプリとデータ** をクリックします。
- 3 **アプリポリシー** 下で **Wyse Software Thin Client** をクリックします。
- 4 **ポリシーの追加** をクリックします。
標準アプリポリシーの追加 ウィンドウが表示されます。
- 5 **標準アプリポリシーの追加** ウィンドウで、次の操作を行います。
 - **グループ** ドロップダウンメニューから、Wyse Software Thin Client の登録先のグループを選択します。
 - **タスク** ドロップダウンメニューから、**アプリケーションのアンインストール** を選択します。
 - **OS タイプ** ドロップダウンメニューから、**Wyse Software Thin Client** を選択します。
 - **アプリケーション** ドロップダウンメニューから **Uninstaller_WyseConverterForPCs.exe** を選択します。
- 6 **保存** をクリックします。
- 7 **ジョブ** ページに移動し、Wyse Converter for PCs のサイレントアンインストールを開始するようにジョブをスケジュールします。

Wyse Converter for PCs をローカルでアンインストールする

前提条件

- 書き込みフィルタが無効になっている必要があります (Windows 10 Enterprise オペレーティングシステムのみ)。
- Wyse Converter for PCs をインストールする前に、使用可能な管理者アカウントから Wyse Converter for PCs をアンインストールする必要があります。

手順

- 1 **コントロールパネル** に移動し、**プログラムと機能** をクリックします。



- 2 プログラムのリストから、**Wyse Converter for PCs** を選択します。
- 3 **アンインストール** をクリックします。
確認画面が表示されます。
- 4 **はい** をクリックします。

アンインストールが完了すると、**アンインストールの完了** メッセージが表示されます。

- ① **メモ:** Wyse Converter for PCs 実行ファイルをダブルクリックして、Wyse Converter for PCs をアンインストールすることもできます。また、管理者としてログインし、コマンドプロンプトを実行して、`uninstaller_WyseConverterForPCs.exe` を入力することもできます。サイレントパラメータの詳細については、「[サイレントインストール用のパラメータ](#)」を参照してください。

Wyse Converter for PCs のトラブルシューティング

このセクションでは、Wyse Converter for PCs のトラブルシューティング情報を提供します。

- 問題 - インストールが前提条件のチェック中に停止します。

解決策 - Wyse Converter for PCs をインストールするための前提条件を満たしていることを確認します。「[前提条件](#)」を参照してください。ログは、現在のユーザーの一時的な場所（%temp%）で入手できます。

- 問題 - 選択したアプリケーションがインストールに失敗する場合に、インストールが停止します。

解決策 - 詳細なエラーログレポートについて、ログファイル `InstallWyseConverter.log` または `UninstallWyseConverter.log` を表示します。

- 問題 - インストール中にロックダウンスクリプトが失敗します。

解決策 - 詳細なエラーログについて、drive C:/Windows/setup/logs にあるログファイル `Appsinstall.log`、`InstallMon.log`、`UninstallWyseConverter.log` を表示します。

- 問題 - 有効なライセンスを購入した後で、ライセンスの画面が WyseUser デスクトップに表示されます。

解決策 - Wyse Software Thin Client を Wyse Management Suite に登録していることを確認します。

- 問題 - ロックダウン展開中に自動ログオンが失敗します。

解決策 - パスワードに \ / : * ? " < > | などの特殊文字が含まれていないことを確認します。現在のインストールを続行する場合は、展開ステージで使用されたパスワードを入力します。

